

鈴木重子さん 紛争地から 平和の音楽を奏でる in ウガンダ

世界の紛争地で生まれた歌を集めて発信する「Breath for Peace～平和への息づかい～」の発起人でもあるヴォーカリストの鈴木重子さん。昨年11月、紛争を経験した人々が奏でる音楽に直接触れたいと、停戦から5年が経ったウガンダ北部を訪れた。



「北部ウガンダ音楽協会(NUMAA)のメンバーと歌とダンスを楽しむ鈴木さん。『生のアフリカンミュージックに触れることができ感動です』



紛争で荒廃した
北部で暮らす人々と出会って

「俺 たちはみんな平和が好きだ！」「平和がこの地域を幸せにしてくれるんだ！」

アフリカ東部、ウガンダ北部のアナカ村。軽快なヒップホップミュージックに乗せて、現地の男性ミュージシャンたちが力強く、詩を奏でている。野外ステージの周りに、3000人近くは集まっているだろうか。皆、思い思いに身体を揺らしながらリズムを刻んでいる。

その中に一人、一緒に楽しそうに踊っている日本人女性がいた。「なんとかしなきゃ！プロジェクト」※1の著名人メンバーでもあるヴォーカリストの鈴木重子さん。紛争地で生まれた歌を集めてホームページで発信し、日本人々々に「平和について考えてもらおう」「Breath for

国内避難民が安心して帰還できるよう、JICAはコミュニティー開発計画の策定を支援。学校も重要な要素の一つだ



アナカ村で「ふるさと」を披露する鈴木さん。温かいメロディーから放たれるふるさとへの思いを感じながら、現地の人々は静かに耳を傾けていた

人々が暮らしていた「ふるさと」は紛争の間にすっかり荒廃してしまっただけ。最初に鈴木さんが降り立ったのは、北部の中心都市グル。JICAは09年8月、グルにフィールドオフィスを開設。「ウガンダ北部復興支援プログラム」を通じて国内避難民の帰還と再定住を促進すべく、インフラ整備から人材育成まで幅広い支援を展開している。初めてアフリカの地を踏んだ鈴木さんは空港からの道すがら「大地も空も広くて、人と地球が広がっているように感じました」と語った。JICAが建設を支援した学校や給水施設、道路や橋を視察し、「停戦後の

早い段階で現場に入り、現地の人たちの生活に直結する支援が実現できているのは素晴らしいですね」と話した。**平和を願う歌を通じて一つになった心**

鈴木さんはこのウガンダの旅で、どうしても実現したいことがあった。それは、現地のミュージシャンと交流すること。同じ音楽に携わる者として、紛争の経験者である彼らがどんな思いで、自分の悲しみや喜び、希望を音楽の中で表現しているのかを確かめたかったのだ。今回、縁あって鈴木さんが出会ったのは、北部

で活動するミュージシャンで結成された「北部ウガンダ音楽協会(NUMAA)」のメンバー。かつて少年兵だった人、家族を紛争で失った人など年齢も境遇もさまざまだが、「歌を通じて平和のメッセージを伝えたい」と志を同じくし、ゲルを拠点に音楽活動を展開している。彼らは鈴木さんの訪問を聞き、新曲を作成してくれていた。曲のタイトルは「Kuk obed tye (平和あれ)」。冒頭のアナカ村でのライブイベントで披露された曲だ。ライブ会場は県庁の前の大きな木の下。昔から何か行事のあるときは、いつもこの木の下に集まるそうだ。鈴木さんは覚えてたのアチョリ語の歌詞を村人たちと一緒に歌い、踊っているうちに、「アフリカのリズムがだんだん体にしみ込んでくるようだった」という。「アフリカの人たちの音楽センスは素晴らしい。日本の人たちにも生で聞かせてあげたいですね。最後にはいつの間にか全員が大きな円になっていて、心が一つになったような気がした。」



【上】国内避難民のキャンプ跡を訪れた鈴木さん
【右】子どもたちと記念撮影。鈴木さんの訪問に大喜び
【左】紛争後、JICAが整備を支援した橋。かつては丸太が渡されただけの簡素な橋だったが、完成後は住民の生活のアクセスが大きく改善された

その後、郊外の国内避難民キャンプの跡地を訪れた鈴木さん。広大な敷地にはハットと呼ばれるわらぶきの家が所々に



残ってはいるものの、見渡す限り草原だった。「ここに3万人もの人が生活していたんですよ」という現地スタッフの話聞き、鈴木さんはとても驚いた様子。「北部の人たちの安全が奪われることなく、新しい自由や幸せを見つけていけるようになってほしい」と語った。5日間の滞在を終えた鈴木さんは「現地で見えたこと、聞いたこと、感じたことがあまりにも大きすぎて、まだ実感としてつかみきれずにいます。これから自分の中で消化しながら、歌を通じて伝えていきたい。鈴木さんの平和への息づかいが、彼女の温かい声に乗せられ、世界中に広まっていくだろう。」

※1 途上国の現状を知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクト。実行委員会はNPO法人国際協力NGOセンター(JANIC)国連開発計画(UNDP)、JICA。
※2 政治的な迫害、内戦、自然災害の被害などから逃れるため、国内での移動を余儀なくされた人々。

「Breath for Peace」の活動は「なんとかしなきゃプロジェクト」のホームページ(nantokashinakya.jp/)でご覧いただけます。